

# 公益財団法人日米医学医療交流財団 留学助成

## 研修報告書 (2017年度 助成者)

作成日 2017年 9月 14日

氏名 (フリガナ)	東方 謙介 (トウホウ ケンスケ)
研修先機関名	Hawaii Tokai International College
研修期間	2017年8月14日 (月) ~ 8月19日 (土)
大学名	和歌山県立医科大学
学年	5年

送られてきたタイムスケジュールを見て、出発前までは「お盆の時期にわざわざハワイまで来て、朝8時過ぎから夜9時まで勉強？」と思っていましたが、今振り返ってみればもう少しやりたかったと思うほど、本当に有意義で濃いプログラムでした。

午前中は寮のあるHTICのキャンパスでMedical EnglishとMedical Ethicsの講義を受けます。Medical Englishではケースプレゼンテーションの基礎を学び、Medical Ethicsでは複雑な倫理的問題を含む場面についてのビデオを視聴し、ディスカッションをします。講義とは言え、聞いているだけではなく、英語で発表をしたりディスカッションをしたりと積極的な参加が求められます。その後バスでホノルル市内へ移動して昼食を取ったあと、少し観光をしてから市内の病院やハワイ大学医学部 (JABSOM) などを見学します。夕方からはJABSOMに戻って1つ講義を受けたあと、ケースプレゼンテーションについてのトレーニングです。

このプログラムのハイライトは何と言っても”Case Presentation”でしょう。ハワイ大学の医学生に問診し、それをまとめて先生方にプレゼンテーションして、フィードバックをいただく。これを毎日いくつかの症例で何度も繰り返します。症例はどれも特徴的で比較的分かり易いものでしたが、1日目、2日目と少しずつ複雑で難しくなってきました。このトレーニングは医学英語の練習になること以上に、これから日本で医師をしていくにあたって非常に役に立つものでした。トレーニングの最後には、先生から与えられたとても難しい症例を日本人参加者の学生の1人が全員の前で発表し、これに対してハワイ大学の学生が鑑別診断をあげながら臨床推論する時間がありました。自分は簡単な症例でも2,3つしか鑑別診断をあげることができないのに、ハワイ大学の学生は次々に鑑別診断を挙げていて、アメリカの医学教育のレベルの高さと自分の未熟さを痛感しました。

参加者には帰国子女や留学経験のある人、USMLE取得に向けて勉強している人などもいて、皆モチベーションが高く、刺激を受けました。また日本人の先生方の中には日本で医学を学び、ハワイで働いている方も多くいらっしゃり、アメリカで活躍するには具体的にどういうキャリアプランを立てればいいのか参考にもなります。

一週間弱と短期集中型のプログラムではありましたが、最終日に近づくにつれて初日とは比べ物にならないほど成長しているのが実感できました。素晴らしいプログラム、素晴らしい仲間、そしてハワイという素晴らしい場所で、かけがえのない経験をさせていただきました。最後になりましたが、JANAMEF、HTICの方々はじめ、関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。